



福島県伊達市

北畠顕家卿
歴史めぐりマップ

りょう
ぜん
こん
じゃく

霊山今昔



北畠顕家卿

ものがたり

みちのく霊山へ
あなたをいざなう



だてハーブ鶏
デミシチューセット



伊達鶏とだてハーブ鶏
鉄板焼定食

道の駅
伊達の郷
りょうぜん

観光案内所
本格オープン
2019年7月

このおいしさは
ダテじゃない!

山間と農村に浮かぶ道の駅は、旅人と地元の人が行き交う「宿場」であり、伊達の美味しいものに出会える「ビストロ」でもあります。こだわりの「伊達食」を思う存分めしあがれ!



買ってうれしい
「伊達みやげ」も
たくさん!

- 〒霊山町下小国字桜町3-1
- Pあり ☎024-573-4880
- 休 1月1日(他、臨時休館日あり)
- ☎東北中央自動車道(相馬福島道路)「霊山IC」そば

初代
朝宗

伊達市観光案内所

道の駅「伊達の郷りょうぜん」内

お問い合わせ **080-4409-4978**

一般社団法人 伊達市観光物産交流協会

☎024-529-7779

観光情報ポータルサイト「だてめがね」 検索



福島県 伊達市への アクセス



電車	バス
福島駅から阿武隈急行線で ●保原駅まで約20分 ●梁川駅まで約30分	東北自動車道を利用し伊達市役所まで ●国見ICから約25分 ●福島南ICから約25分

東北新幹線	福島市	仙台
約1時間30分	(約25分)	(約1時間)
東北自動車道	東北本線	
(約3時間20分)	(約1時間)	(約1時間20分)

伊達市	国道4号線	阿武隈急行線
(約25分)	(約2時間)	(約1時間)
伊達市	伊達市	伊達市
伊達市	伊達市	伊達市

強く、美しく
空を斬る険しい岩肌を
四季折々の美しい自然が包む
荒々しくも気高い山並みが
ひとの心を引きつける

名峰・霊山はいくつもの時代を見守ってきた
はるか昔
山上に神仏が宿ると信じる人がいた
戦いの渦に身を投じる人がいた
霊山に咲いたものがたりをたどって

強く、美しく

いざ、いにしえの世界へ――



霊山今昔ものがたり CONTENTS

- ② 強く、美しく
- ③ 昨日の友は、今日の敵！ 南北朝勢力図
- ④⑤ 花将軍、駆ける北畠顕家卿の上洛遠征路
- ⑥⑦ 霊山と顕家卿ゆかりの歴史マップ
- ⑧ 伊達の空を飛ぶ
- ⑨ 来てたもれ 霊山の楽しみ方

霊山探訪 顕家卿の面影探して…

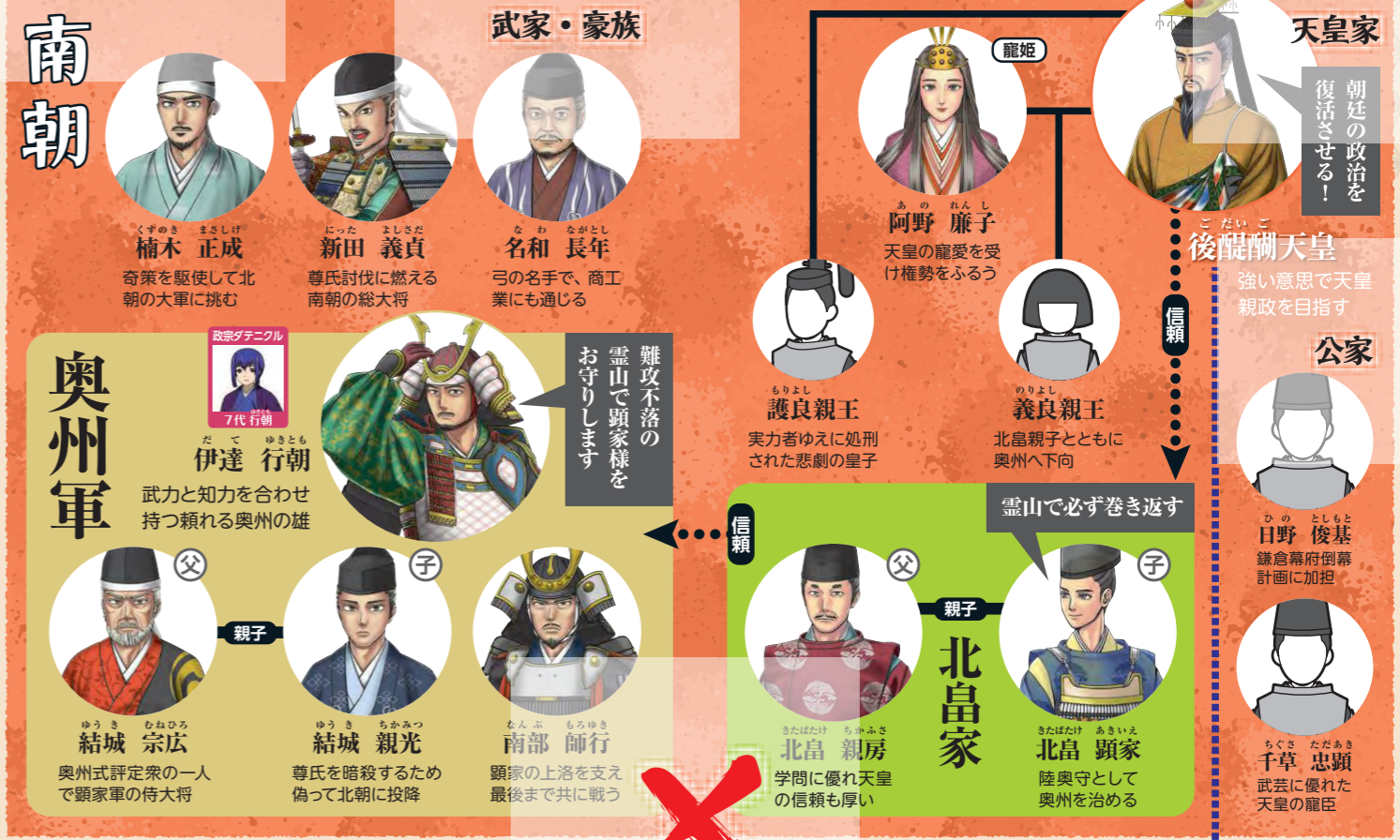
- ⑩⑪ 伊達市霊山町大石地区、石田地区、掛田・山戸田・下小国地区
- ⑫ 県内のその他史跡、県外の史跡

霊山とは 福島県伊達市と相馬市の境にある標高825メートルの岩山で、古い歴史と四季折々の美しさから国の史跡および名勝に指定されている。「霊山」の名の由来は、釈迦が修行したインドの霊鷲山(りょうじゆせん)で、慈覚大師円仁が名付けたと伝えられている。慈覚大師が山上に霊山寺を開山後、霊山は東北山岳仏教の聖地として栄えるが、南北朝時代に戦いの舞台となり炎上。歴史の表舞台から姿を消した。現在は山中にハイキングコースが整備され、東に太平洋、西に信達盆地を望む風景と気軽にトレッキングを楽しめる山として愛されている。特に10月下旬から11月上旬にかけての紅葉が美しく、県内外から多くの人々が訪れる。

〔慈覚大師円仁〕
平安前期に活躍した天台宗の僧。延暦13(794)年に下野国に生まれ、15歳で比叡山に入って最澄に師事した。45歳で唐にわたり、約9年密教を学んだのち帰国。第三代天台座主となり、日本天台宗の教義を大成させたほか、寺の開山と再興に努めた。山形の立石寺、松島の瑞巖寺、浅草の浅草寺など、その数は500寺を超える。

昨日の友は今日の敵！ 南北朝勢力図

後醍醐天皇は、鎌倉幕府に不満を持つ武士を味方に付け、倒幕の願いを叶えた。天皇は、公家と武家を統一した上で自らが政治を行う天皇親政を目指したが、武家より公家を重用し、恩賞も多く与えたために武家の不満が爆発。足利尊氏を筆頭に反旗を翻した！



イラスト：yukiko shishido

イノシシが変身! 伊達市の豊かな大地を荒らす困ったイノシシが華麗に変身! 「inoDATE (通称イーノ)」は伊達市産のイノシシ革でつくる革製品ブランドです。軽く柔らかく丈夫な革の質感を楽しめます。



「政宗ダテニクル」にも登場!
伊達市とガイナ・福島ガイナが共同で制作したアニメ。17代伊達政宗と政宗を支える歴代の当主たちが繰り出す戦国青春グラフィティ。

探してみよう! アニメの霊山
©ガイナ/福島県伊達市

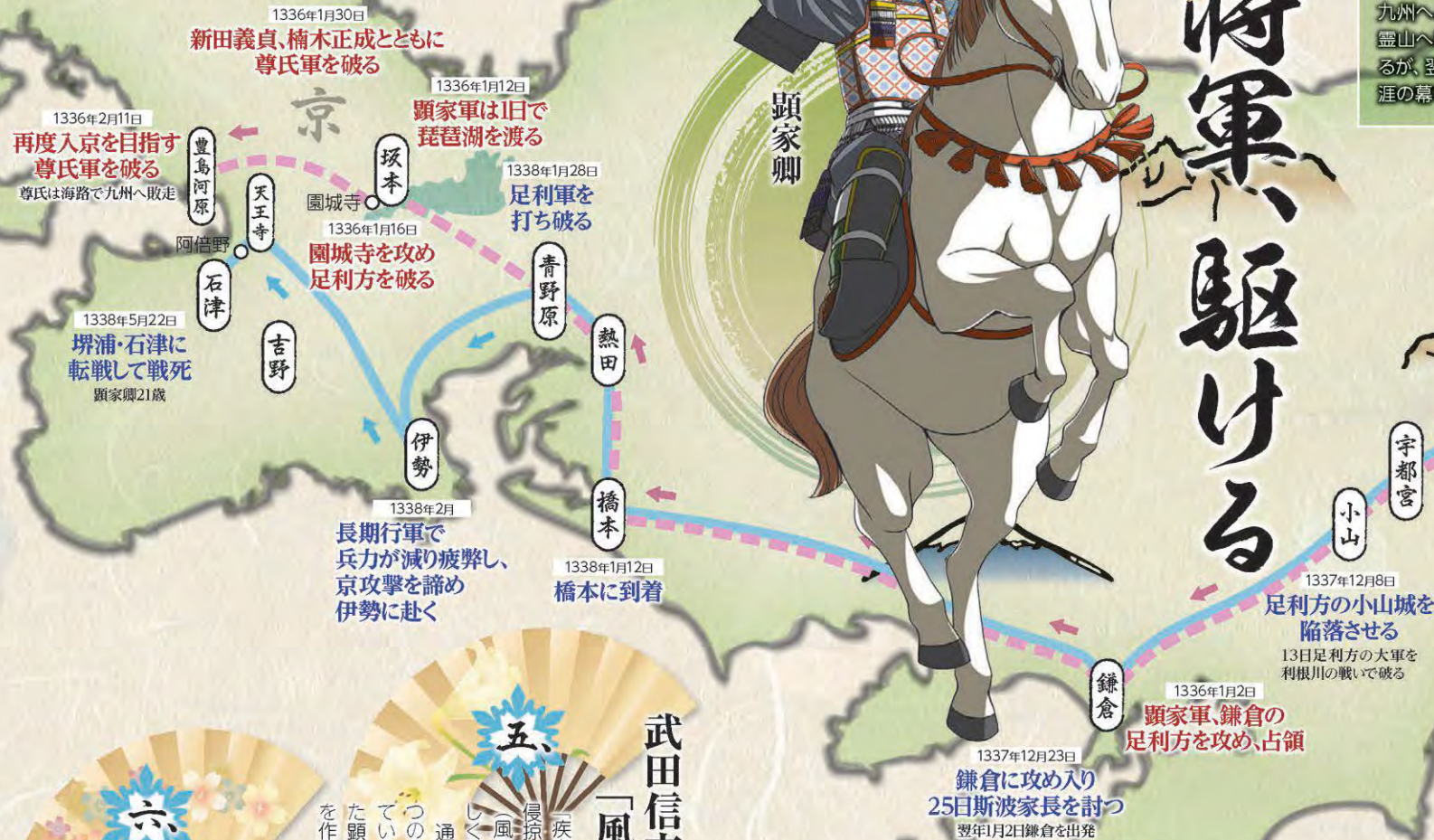
霊山と北畠顕家卿の年譜

◆青字=霊山の主なできごと
※南北朝時代の年号は(南朝方/北朝方)の順

859 (貞観元)	天台宗の僧、慈覚大師円仁が霊山を開山する
869 (貞観11)	陸奥国東方沖を震源とした貞観地震が発生する
1189 (文治5)	奥州合戦が起こる
1192 (建久3)	征夷大將軍 源頼朝、鎌倉幕府を開く
1318 (文保2)	北畠顕家、京に生まれる
1324 (正中元)	後醍醐天皇による倒幕計画が発覚、関係者が処分される(正中の変)
1331 (元弘元/元徳3)	後醍醐天皇、再度倒幕計画を企てるが失敗、翌年に隠岐島へ流される(元弘の乱)
1333 (元弘3/正徳2)	鎌倉幕府が滅亡、後醍醐天皇が政権を握る(建武の新政) 顕家、陸奥守に任命され多賀城へ下向
1335 (建武2)	顕家、鎮守府將軍を兼任。後醍醐天皇に背いた足利尊氏を討つため出陣する
1336 (建武3)	1月 顕家勢、京都の尊氏勢を破る 3月 顕家、鎮守府大將軍の称号を得て奥州へ戻る 8月 尊氏、北朝を立てる 11月 尊氏、「建武式目」を制定し室町幕府を樹立 12月 後醍醐天皇、吉野へ逃れ南朝を立てる
1337 (建武4)	1月 顕家、国府を多賀城から霊山に移す 5月 北朝方の霊山攻めが始まる 8月 顕家、尊氏を討つため再度出陣する
1338 (建武5)	5月 顕家、和泉国石津にて戦死する
1339 (建武6)	顕家の父・親房、南朝の正統性を主張する「神皇正統記」を執筆する 後醍醐天皇崩御。義良親王が後村上天皇として即位する
1347 (正平3)	霊山城が落城する
1351 (正平6)	顕家の弟・顕信、親応の擾乱(足利尊氏と弟・直義の争い)に乗じて一時的に多賀国府を奪還する
1353 (正平8)	顕信が守る宇津峰城が落城、南北朝の戦いが事実上終結する
1392 (元中9)	足利義満の主導で南北朝が合一する
1401 (応永8)	伊達氏が霊山寺を再興するが、50~60年ほどで火災により焼失
1467 (応仁元)	応仁の乱が起こる
1640 (寛永17)	霊山寺、寛永寺末寺として現在の場所に復興する
1881 (明治14)	北畠顕家をはじめとする北畠一族を祀った霊山神社が創建される
1934 (昭和9)	5月1日、「霊山」が国の史跡および名勝に指定される



北畠顕家卿の上洛遠征路



北畠 顕家(きたばたけ あきいえ)

文保2(1318)年、「神皇正統記」を著した北畠親房の長男として京に生まれる。年少の頃から有能ぶりを発揮し、さまざまな官職を歴任。16歳で陸奥守を命じられると、後醍醐天皇の皇子・義良親王を奉じ、多賀国府で奥羽地方を治める。建武2(1335)年には鎮守府將軍となり、反旗を翻した足利尊氏を追撃するため上洛。翌年に尊氏を九州へと敗走させる。延元2/建武4(1337)年、南朝の勢力を立て直すため国府を霊山へ移す。同年、後醍醐天皇の要請で再度、足利討伐の兵を挙げて各地を転戦するが、翌年和泉国(大阪府)石津で戦死。享年21歳。後醍醐天皇と南朝に尽くした生涯の幕を閉じる。

南北朝時代とは

1336年から約60年間にわたって、朝廷が2つ存在した時代をいう。1333年、後醍醐天皇は、鎌倉幕府に不満を持つ武士を味方につけて倒幕に成功すると、公家と武家の直接支配を目指して「建武の新政」を開始する。しかし恩賞に不公平があり、政局の混乱を招いたため、足利尊氏が反旗を翻すと不満を持つ武士があとに続いた。尊氏が後醍醐天皇と対立する光明天皇を立て(北朝)、室町幕府を開くと、後醍醐天皇は吉野へ移り、皇統の正当性を主張した(南朝)。

乱世に咲いた陸奥の花

村上源氏の流れをくむ名門

「北畠氏」は、村上天皇の第七皇子・貞平親王の子、師房の子孫だ。師房は初めて源氏の姓を与えられ「村上源氏」を称したことで知られる。北畠氏の家紋は、源氏の家紋と同じ「世苗胆紋」である。



戦う公卿

公卿の身でありながら、武将としても優れた手腕を発揮した顕家卿。最初に足利尊氏討伐の兵を挙げたときは、荒々しさで有名な奥州武者を率いて600kmの道のりをわずか半月で駆け抜けている。歴史上の強行軍は、豊臣秀吉が明智光秀を討つため、約200kmを10日ほどで移動した「中国大返し」が有名だが、これを遙かに超える速さだった。

文武両道、早熟の天才

顕家卿は、もともと文武両道の天才だった上、教養豊かで政治的にも優れた父・親房の教育を受けて育った。その才能は幼い頃から認められ、史上最年少の14歳で参議・朝廷の最高機関で大臣らと政策を審議する役職に昇進した。

顕家卿美青年伝説

顕家卿は美青年という伝説があるが、残念ながら具体的な証拠が残っていない。しかし14歳の頃、後醍醐天皇に「舞を披露した際の記録に『形もいたいけれど、けなりげに見え給いに(幼くてかわいらしく、態度は堂々としている)』とあり、人目を引く存在であったと想像できる。

武田信玄より前に「風林火山」の旗印を使用?

「疾き(はやき)こと風の如く、徐か(じずか)なること林の如く、侵掠(しんりやく)すること火の如く、動かさること山の如し」(風のよう素早く動く、林のように静かに構える、火のように激しく侵略する、山のようにとっしりと動かない) 通称「風林火山」は、中国の兵法書「孫子」が示した戦場での4つの心構えのこと。戦国大名・武田信玄が用いたことで広く知られているが、元祖は顕家卿だったという説がある。当時の知識人だった顕家卿の父・親房が、戦場での心がけとして「風林火山」の御旗を作って手渡したとしても不思議ではない。

後醍醐天皇に苦言を呈する

後醍醐天皇の「建武の新政」は、やがて君主独裁制に傾いていった。天皇と南朝の未来を真剣に憂う顕家卿は、戦死の7日前に陣中で7項目にわたる政治意見書をしたためている。「この意見を聞き届けていただけなければ、天皇のもとを辞して山中にこもりまします」という結びの一文からは、今、政治を何とかしなければという強い覚悟が感じられる。

顕家卿を祀る神社

伊達市の霊山神社以外にも、顕家卿を祀る神社があります。大阪府の阿部野神社は、顕家卿と足利軍が戦った古戦場跡に社を構えます。三重県の北畠神社は、顕家卿の弟・顕能が主祭神で、その末裔が江戸時代に創建しました。

南北朝時代の城

天守閣があり堀に囲まれた城は、戦国時代以降に現れました。それまでは、戦に備えた城というと、天然の要害やすである建物を転用した臨時的なものでした。霊山城も霊山の断崖と寺院群を利用してあります。

霊山と顕家卿 ゆかりの 歴史マップ

霊山散歩

一般的なコースは、霊山こどもの村脇の登山口を出て、国司沢-護摩壇-霊山城跡-望洋台-日暮岩などを巡る約6.2km。所要時間は約3時間。登山口から東物見岩-霊山城跡、さらに霊山寺跡や紫明峰を訪ね、霊山町大石の霊山閣跡などへ抜ける健脚向きの縦走コースもあります。所要時間5時間。

図中の①~⑨ A~Fの詳しい説明はP.9以降にあります。



駒止めの松跡

伊達平野を見渡す小高い丘にすくと笠の形が美しい赤松がありました。源義家や義良親王(のちの後村上天皇)がここに馬(駒)を休めたといわれています。



もっと霊山

冊子「霊山の歴史」史跡名勝 霊山(菅野家弘執筆・編集、霊山町郷土史研究会発行、定価800円)と登山マップ「霊山 県立自然公園」(昭文社制作、福島市相馬市二本松市伊達市観光圏協議会発行、定価200円)はりょうぜん紅彩館でお求めになれます。



伊達市保原 歴史文化資料館

郷土に関する歴史や文化資料の収集・保存・整理にため、伊達市の歴史を発信する施設として、常設展示のほか企画展示などを行っています。保原町大泉字宮前265 伊達市保原総合公園内 TEL/FAX 024-575-1615 開館時間 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで) 休館日 火曜日(火曜日が祝日の時はその翌日)、年末年始(12月28日~1月4日) 観覧料 大人210円、小中学生100円



宝財踊り

南相馬市鹿島区の日吉(ひよし)神社に伝わる芸能です。霊山落城時、桑折(ごおり)五郎ら13人は顕家卿の愛妾・松代の方と遺児を守り、鹿島へ落ち延びたといわれています。その際、ありあわせの道具を手に七福神に扮して踊りながら、敵の囲みを逃れまわります。この様子を伝えるのが宝財踊りといわれています。

峰屋パン店

地元の人に愛され続ける、まちの小さなパン屋さん。昔懐かしい銀のトレーに、クリームたっぷりのぼうしパンやピーナッツパン、サラダパンなど人気のパンが並びます。ふんわりもちりの食感が特徴です。

宝財踊り

呼ばり石は知っている
月館町三拍子に立つ呼ばり石という一つの太古、顕家卿の家臣手渡(てわた)と八郎義孝(やぶら)という強い侍が、顕家と共に西上して主君の戦死を見届け、その報告のために帰ってきました。霊山城は大軍に囲まれていました。顕家夫人に落ち延びた八郎の恋人の八重野もここに落ち延びたかわからず、八郎はこの石の上の上に立って声を限りに叫びました。八重野も無事か。涙ながらに呼び続けた八郎は、自らこの岩の上で若い命を絶つた。その後、顕家夫人も八重野も、この場所を命を絶つたのでした。

街と道がつなくもの
東北中央自動車道は相馬市から伊達・福島両市を経て山形県米沢市を經過し、秋田県横手市に至ります。長らく基本計画区間のまま事業化のめどが立たなかった相馬-福島間は、東日本大震災をきっかけに東北の復興を目的に、相馬福島道路として整備されています。相馬市と伊達市は古い民謡に「伊達と相馬の境の桜、花は相馬で実(は)伊達に」と謳われているように、塩をはじめとする海産物、農産物の交易が盛んでした。

錦の御旗
霊山神社の社宝「錦の御旗」が保管されています。鳥羽・伏見の戦いで新政府軍が官軍(朝廷軍)の証しに用いました。(上の写真は「霊山町史」より提供)

有限会社 わくや
有限会社 わくや

大宮の手洗池
「大宮の手洗池」にみれば、四月の甲子(かの)の日に山頂一之宮付近の手洗池にマユを浮かべ、その年の伊達・宇多相馬・刈田(宮城県三好郡)の義経の善願をこたえたと云われています。

霊山出土青磁花盆
霊山山頂ふもとに見える二ツ岩遺跡より発見。中国の龍泉窯という窯で焼かれた鎌倉から室町時代のもので、この花盆は、全国的に見ても青磁や交易の中心地から発見される例が多く、霊山の重要性を示す優品です。県指定文化財(霊山神社蔵)。

霊山石田 フヨメキの水芭蕉
霊山石田 フヨメキの水芭蕉

伊達の空を飛ぶ

福島県の北部に位置する伊達市。東に阿武隈山系の霊山、北方に宮城県境の山々が遠望できます。山々に囲まれた自然豊かな土地で様々な果樹や野菜が栽培され、四季折々の風景が楽しめます。伊達氏発祥の地であるこのまちの歴史は古く、市内には数々の史跡が点在しています。



A 霊山ボルダerland

霊山ボルダerlandは、ボルダリングに適した岩(花崗岩)を、できる限り自然のままに登ることがコンセプトで、ほとんどが斜面です。登る際は、十分注意しましょう。

いい汗かこう

- 所 福島県伊達市霊山町石田地内
- ☎ 024-577-0057
- P 大霊山線沿いの霊山閣登山口に約15台(満車の際は霊山閣内にも約15台可能)
- 山 霊山閣跡地(仮設トイレ)、霊山パーキング
- 関 伊達市商工会青年部

霊山太鼓

霊山太鼓は江戸時代寛文年間が始まりといわれる、伝統ある太鼓です。曲目には「通り囃子」や豪快で華やかな「打ち囃子」、しっとりとした「中切り」など変化に富む十数曲を伝えています。見所は「打ち囃子」。最初はウキウキさせ、最

後には太鼓の音に魅了されて体を乗り出すほど引き付けます。

- ☎ 024-586-1041
- 関 霊山太鼓保存会
- HP <http://www.5e.biglobe.ne.jp/~shinji/index.html>

桐の太く短いバチが特徴



How To 霊山の楽しみ方 RYOZEN



B りょうぜん里山がっこう

廃校利用の懐かしい木造校舎で、人と人をつなぐ地域おこしの拠点。パン・ピザ作りの他、初めての人も気軽に体験できるがっこう内のボルダリングや、徒歩20分の里山ポレットボルダで公開イベント大好評。

- 所 福島県伊達市霊山町大石細倉17
- ☎ 024-587-1032
- 休 月・火曜日(祝日営業) Pあり
- HP <http://date-satoyama.com/>

霊山こどもの村

遊んで学べる自然の中の遊園地。アート(文化・芸術)とサイエンス(科学)を「見て・触って・体験する」施設です。なかでも「大きなおおきなシャボシ玉」は、大人も子どもも楽しめて写真映えすること間違いなし。

- 所 福島県伊達市霊山町石田字宝司沢9-1
- ☎ 024-589-2211
- 休 9時~16時30分(最終入園16時)
- 関 毎週水曜日 Pあり
- 関 りょうぜん振興公社

D いちごから笑顔サイダー

莓の甘酸っぱさを生かした、いちごサイダーは誰でも笑顔になれる飲み物です。

- 所 伊達市霊山町山戸田字上落合42
- ☎ 024-586-1108 Pあり
- 時 10:00~18:00 関 松葉園



E まきはのジャージー

ジャージーとは、乳量が少ない代わりにカリウム、ビタミンなどの栄養が高い乳牛です。ジャージー牛乳の栄養と風味がそのままなソフトクリームと、果物や野菜を加えた20種類以上のアイスクリームが大人気。

- 所 伊達市霊山町石田字川面1-1
- ☎ 024-589-2375
- 営 (月~金) 8:30~18:00 (土日) 8:30~18:30 (冬季) 8:30~17:30
- 休 年中無休 Pあり

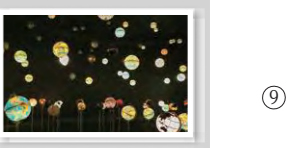
F りょうぜん紅彩館

霊山に来たなら休憩はここ。お風呂には、霊山の岩場に太古から自生する薬草・霊山ニンジンが入っています。疲れを癒やし、冷え性・貧血などの薬効が目まぐるしく。山を見上げ料理を食べて、リフレッシュ。

- 所 福島県伊達市霊山町石田字宝司沢9-1
- ☎ 024-589-2233
- 関 レストラン「紅葉清水」11:00~14:00(16:00以降は宿泊のお客様のみ)
- 日 休 4~11月 利用時間10:00~20:00(最終受付は19:00) 12~3月 利用時間10:00~18:00(最終受付は17:00)
- 休 毎月第4水曜 Pあり
- HP <http://kodomo-ryozen.org/kousaikan/>

地球儀アート

霊山こどもの村「遊びと学びのミュージアム」には、110個の地球儀が暗闇に浮かぶ幻想的な部屋が。これは芸術家のインゴ・ギュンターさんの作品で、地球上の政治や経済、環境などのテーマを表現しています。



霊山探訪

顕家卿の
面影探して…

大石地区

1 霊山神社 霊山の麓に北畠一族を祀る



明治14(1881)年、北畠親房、顕家、顕信、守親(顕信の子)を主祭神として、北畠氏の支城があった地に創建されました。建武の新政に尽力した南朝側の皇族、武將を祀る15の神社(建武中興十五社)のひとつに数えられています。京都の嵐山から移植されたという紅葉の美しさと、春の例大祭に奉納される剣舞「濫觴武楽らんじょうぶがく」や「大石北又獅子舞」で知られています。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシーで25分
霊山飯館ICより約15分 所 伊達市霊山町大石古屋館1

2 霊山寺 歴史と伝説が あふれる寺



南北朝の戦乱で焼失後、伊達氏が麓に再興しましたが再び焼失(宮脇廃寺跡)、山王宮以外の取り壊しや一向への改宗騒動を経て、寛永17(1640)年に天台宗寛永寺の末寺となりました。秘仏の阿弥陀薬師如来は慈覚大師の作といわれています。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシーで20分
霊山飯館ICより約20分 所 伊達市霊山町大石倉波14

3 日枝神社 山の神を祀る霊山の一之宮



霊山の一之宮にあたる神社で、大山咋神(おやまくいのかみ)を祀っています。永禄5(1562)年、伊達氏15代輝宗の家臣牧野禪正忠宗が社を麓に移し、二度の再建を経て今に至っています。境内には白河藩主松平定信が文化14(1817)年に建立した「霊山碑」が残っています。この碑は顕家卿が南朝の忠臣をたたえたもので、後に霊山が国の史跡名勝に指定されるきっかけとなりました。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシーで20分
霊山飯館ICより約20分 所 伊達市霊山町大石字宮脇86番

4 宮脇廃寺跡 伊達氏が再建した里の霊山寺



伊達氏9代政宗あるいは10代氏宗が霊山寺を再建した跡とみられています。9代政宗夫人は足利義満の生母の妹、10代氏宗は義満の従兄弟にあたるなど伊達氏と足利將軍家のつながりは深く、出土した瓦には將軍家ゆかりの場所を示す菊花文がデザインされています。北山文化の影響で、建物の前面には景石を置いた風流な池があったとみられています。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシーで20分
霊山飯館ICより約20分 所 伊達市霊山町大石

石田地区

5 鈴嶽神社 顕家卿と里人の絆を感じる



顕家卿が伊勢神宮の豊受大神(とよつけのおおかみ)を迎えて創建したといわれています。秋の例大祭で披露する「濫觴神楽らんじょうかぐら」は、顕家卿が里人の歓迎に感謝して奉納した舞が起源と伝えられ、顕家卿の死後、里人がこの地に伝承したといわれています。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシーで20分
霊山飯館ICより約15分 所 伊達市霊山町石田字宮下20

顕家卿は舞の名手

歴シキコイ 恋して ①

顕家卿は、舞の名手だったといわれています。南北朝時代に成立したとみられる歴史物語「増鏡」には、花見の席で醍醐天皇に舞を披露したエピソードが残っています。夕暮れ時に登場した顕家卿は、優れた武才と美しい容姿で知られた中国の蘭陵王を讃えた「陵王の舞」を披露。輝くような美しさに感動した天皇は、その場で褒美の衣を与えました。喜んだ顕家卿は左肩にかけて、退場前に少し舞ってみせたといわれています。

6 霊山寺・霊山城跡 信仰の山に歴史が眠る



霊山は古来より、神が降りてくる山として人々の信仰を集めていました。貞観元(859)年、天台宗の僧・慈覚大師円仁は山上に霊山寺を開山、最盛期には3600もの僧坊を持つ大寺院へと成長しました。やがて南北朝の動乱期を迎えると、南朝の拠点となり霊山城が築かれます。霊山の険しい岩肌は、10年もの間、北朝軍の侵攻を食い止めたため、最後は包囲されて炎上。480余年におよぶ栄華の幕を閉じました。当時の遺物は手つかずのまま山中に眠っています。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシーで40分
霊山飯館ICより約5分 所 伊達市霊山町石田

頼れる男! 行朝

歴シキコイ 恋して ②

伊達行朝は奥州国府で行政・司法・立法を司る式評定衆として活躍し、北畠親王も信頼する存在でした。多賀城陥落後、国府は行朝所領の霊山へ移ります。南朝方はそこで軍勢を立て直し、7カ月後には2度目の尊氏討伐の兵を挙げます。追い込まれているにもかかわらず、短期間で反撃できたのは、霊山周辺の守りを固める行朝の巧みな手腕があったからではないでしょうか。また、行朝には歌人の才もあり、藤原朝村の名で「風雅和歌集」に以下の歌が収められています。

「かつしかのまゝの浦風ふきにけり
ゆふなみこゆるよどのつぎ橋」

(通釈: 葛飾の真間の浦から、風が吹いて来た。海から寄せる夕波が越える、淀の続橋よ)
出典: 『風雅和歌集全注釈 下巻』 岩佐美代子/空閑書院

掛田・山戸田・下小国地区

7 懸田城跡 北畠氏と伊達氏の軍事拠点



建武2(1335)年、福島杉目を拠点にしていた高松定隆は、顕家卿の命を受けて茶臼山に懸田城を築き、懸田氏を名乗りました。戦国期の城主・懸田俊宗は、伊達氏の内乱「天文の乱」で義父の伊達氏14代植宗に味方しましたが、戦いに敗れ懸田城は打ち壊されました。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシーで20分
霊山ICより約5分 所 伊達市霊山町掛田字古城山

8 三乗院山門 意匠を凝らした豪壮な山門



三乗院は天文元(1532)年に瀨田城主佐藤越中守信種が開いた禅寺で、信達三十三観音の札所の一つです。山門は切妻式瓦葺の豪壮な六脚門で、万延元(1860)年に建立されました。江戸時代末期の貴重な寺院山門建築で、伊達市の有形文化財に登録されています。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシーで20分
霊山ICより約5分 所 伊達市霊山町掛田字西裏

9 小国城跡 交通の要所にある南朝の城



北畠顕信は兄の顕家亡き後、北朝が占領する多賀城を奪還します。しかし翌年に敗れ、宇津峰城へと撤退しました。この時、顕信軍は小国城に立ち寄りたといわれています。築城主は不明ですが、交通の要所にあるため、軍事目的で築いたと推測されます。

アクセス 阿武隈急行「保原駅」からタクシーで25分
霊山ICより約5分 所 伊達市霊山町下小国

家臣に訴えられた 17代政宗

顕家卿に仕えた大條内蔵同五郎の子孫、山戸田八兵衛は17代伊達政宗の家臣でしたが、政宗が葛西・大崎一揆を企てたと訴えます。このことがきっかけで、時の権力者・豊臣秀吉は、政宗を岩出山城へと移し、伊達氏先祖伝来の伊達地方を取り上げました。八兵衛はその後蒲生氏郷に仕え、山戸田村、大石村など2千石の領地を与えられています。



災難消滅勝運守護刀

霊山神社は強運守護や大願成就のご利益で知られています。境内で購入できるお守りも守護刀入りでパワフル。キラリと光る銀色の刀は、災難をスパッと払いのけてくれるはず。

駅舎のあるバス停

福島交通の掛田駅前バス停には、かつて伊達市と福島市を結んでいた路面電車の駅舎があります。当時の掛田駅は霊山観光の玄関口でもあり、バスの連絡きっぷも発売されていました。



県内のその他史跡

国見町 10 ふじ たじょうあと 藤田城跡



国見町教育委員会提供

頼朝も陣を敷いた平山城

奥州合戦の際、源頼朝はここに本宮を置いて阿津賀志山の戦いにのぞみました。南北朝時代には霊山城の支城となり、南朝方の有力な拠点のひとつでしたが、正平2 / 貞和3 (1347) 年、北朝の総攻撃を受け、激戦の末落城しました。

アクセス JR東北本線「藤田駅」から徒歩で5分
 東北自動車道「国見IC」より約6分 所 国見町山崎字北古館地内ほか

南相馬市 11 おだかじょうあと 小高城跡



北朝の雄・相馬氏の拠点

北朝についた相馬重胤が、1336年に築城しました。重胤と次男・光胤は顕家卿に敗れますが、嫡男・親胤とその子胤頼は北朝方として戦い続け、勢力を巻き返しました。「相馬野馬追」の騎馬武者は、城跡に建つ相馬小高神社から出陣します。

アクセス JR常磐線「小高駅」から徒歩で10分
 所 南相馬市小高区小高字古城36

郡山市 須賀川市 12 うづみねじょうあと 宇津峰城跡



名峰・宇津峰にある 南朝の山城

福島県郡山市と須賀川市にまたがる宇津峰山に築かれた山城で、南北朝時代には南朝の拠点でした。北畠顕信は、兄の顕家亡き後、南朝方武将が守るこの城を経て、多賀国府の奪還に向かいました。

アクセス 東北自動車道「郡山南IC」より約30分
 所 郡山市田村町谷田川

白河市 13 こみねじょう 小峰城



奥州の関門に建つ名城

小峰城は、南朝方の猛将・結城宗広の長子、親朝が小峰ヶ岡に城を構えたのがはじまりです。江戸時代になると「寛政の改革」で知られる松平定信など7家21代の大名の居城となりましたが、戊辰戦争白河口の戦いで落城しました。

アクセス JR東北本線「白河駅」から徒歩で5分
 東北自動車道「白河IC」より約20分 所 白河市郭内1

県外の史跡

宮城県 多賀城市 14 たがじょうあと 多賀城跡



奥州の軍事と政治の中心地

神亀元 (724) 年、大和朝廷が蝦夷を制圧するために設置した城で、陸奥国府と鎮守府が置られました。869年の貞観地震の影響で崩壊しましたが、11世紀前半に軍事拠点として復活、南北朝時代には南朝の国府が置られました。

アクセス JR東北本線「国府多賀城駅」から徒歩で15分
 仙台東部道路「仙台港北IC」より約15分 所 多賀城市市川

青森県 青森市 15 なみおかじょうあと 浪岡城跡



浪岡北畠氏が治めた城跡

15世紀中頃に、北畠親房、顕信の子孫によって築城されたといわれています。16世紀前半に全盛期を迎え、都と盛んに交流していましたが、親族間の争いで勢力が衰えたところを大浦 (津軽) 為信に攻められ落城しました。

アクセス JR奥羽本線「浪岡駅」から徒歩で30分
 JR「浪岡駅」からバスで5分 所 青森市浪岡大字浪岡字五所14-1

青森県 八戸市 16 ねじょうあと 根城跡



約300年にわたる南部氏の城

顕家卿の重臣、南部師行が建武元 (1334) 年に築城したといわれ、約300年にわたり南部氏が治めました。顕家卿が「奥州平定の根の城」と完成を祝ったのにちなんで根城と名付けたと伝えられています。

アクセス JR八戸駅前バス停乗車、根城博物館前バス停下車すぐ
 八戸自動車道「八戸IC」より約10分 所 八戸市大字根城字根城47

大阪府 大阪市 17 あべのじんじゃ 阿部野神社



北畠親房卿・顕家卿を祀る

北畠親房卿・顕家卿をご祭神とし、1882年阿部野神社と号して別格官幣社に列せられた神社。鎮座地は顕家卿が足利軍と戦った古戦場であり、神社の近くに顕家卿のお墓と伝わる墓碑があります。建武中興十五社の1社に数えられる神社です。

アクセス 南海本線・高野線「岸里玉出駅」下車、東へ 徒歩5分
 阪神高速15号堺線「玉出IC」より約10分 所 大阪市阿倍野区北畠3-7-20

く にんづか 九人塚の伝説

顕家卿亡き後、顕家夫人をはじめとする武将の妻や姫君9人は、霊山城を出て落ち延びようとしたが、月舘町細布の三拍子で力尽き自害したと伝えられています。悲しんだ村人は、塚を作って亡きがらを丁寧に葬り、椿を植えて霊をなぐさめたといわれています。



けんむちゅうこうじゅうご しゃ 「建武中興十五社」とは?

明治維新によって天皇が政治の実権を取り戻すと、天皇中心の世を目指した建武の新政をたたえる声が強くなりました。新政に尽くした南朝側の皇族や武将は神社に祀られ、中でも後醍醐天皇をはじめとする中心人物を祀った15の神社は、建武中興十五社と呼ばれています。



おでひめ 養蚕を伝えた小手姫様

福島に養蚕を伝えたのは、崇峻天皇の后・小手姫といわれています。天皇を政変で亡くし、落ち延びた蜂子皇子を追ってたどり着いた月舘町で、村人に養蚕と機織りを教えたそうです。

